

# 牧野富太郎博士 朝ドラに

晩年を東大泉で過ごした日本の植物分類学の父

## 令和5年春 放映開始



牧野富太郎博士 個人蔵

NHKは2日、2023年春から放映する連続テレビ小説が、練馬区名誉区民であり日本の植物分類学の父といわれる牧野富太郎博士をモデルに描いたドラマに決まったと発表した。タイトルは「らんまん」で、主演は神木隆之介さんが務める。

牧野博士は、1862年に現在の高知県高岡郡佐川町に生まれた。ほぼ独学で植物の知識を身につけ、1884年には東京大学理学部植物学教室へ出入りするようになった。以後、精力的に研究発表を重ね、

『日本植物志図篇』や『大日本植物志』などの刊行にたずさわり、1889年には日本ではじめて新種ヤマトグサに学名をつけて発表した。1940年に刊行された『牧野日本植物図鑑』は、現在まで改訂を重ね、植物図鑑として広く親しまれている。

晩年は練馬区東大泉（現・練馬区立牧野記念庭園の地）に居を構え、庭に移植した植物を採集したり、標本を整理したり、時に、訪問客と尽きることのない植物の話題に花を咲かせていたようだ。

### 牧野富太郎博士の年譜

1862年	現在の高知県高岡郡に一人息子として誕生
1876年	小学校を自主退学 植物の名前を調べて名前を覚える
1884年	東京大学理学部植物学教室へ出入りする
1888年	「日本植物志図篇」刊行を始める
1889年	日本で初めて新種ヤマトグサに学名を付けて発表する
1912年	東京帝国大学理学部講師となる
1926年	現在の練馬区東大泉に居を構える
1927年	理学博士の学位を受ける 仙台で新種のササを発見する
1928年	妻・壽衛死去 新種のササにスエコザサと命名する
1940年	「牧野日本植物図鑑」刊行
1948年	昭和天皇に植物学をご進講
1951年	第1回文化功労者となる
1953年	東京都名誉区民となる
1957年	満94歳で永眠
1958年	練馬区立牧野記念庭園開園
2008年	練馬区名誉区民となる
2022年	生誕160年